

# 東京ライノ インフラ保護材投入

## スプレー 低コスト・短工期 で塗装

塗装用品の販売を手掛ける東京ライノ(東京都江戸川区、緒方修一社長)は、米ライノ・ライニンクス社(カリフォルニア州)が開発・製造する特殊樹脂「ライノライニンクス・ポリウレアスプレィ・コーティング」を自

本国内で販売する。スプレーなどの強度を高めることで、壁や床ができるインフラ保護

材。塗装コストは1平方メートルあたり約1万〜1.5万円で、従来の塗装に比べ一般的な補強工事によって工費を最大2分の1程度、工期を5分の1程度に抑えることができると。東京ライノでは全国15社の1次代理店と共同

で販路拡大に努め、初年度5億円の売り上げを目指す。

米ライノのポリウレア樹脂は速乾性に優れ数秒で乾燥し、1時間前後で塗布面の上を歩くことが可能。300%以上伸びても破断することなく復元する伸縮性に加えて、耐薬品性、耐摩耗性を兼ね備える。金属、アルミニウム、コンクリート、アスファルト、グラスファイバー、合成樹脂、木質建材、石質建材といった幅広い素材にコーティングできるうえ、スプレー塗装のため塗装の厚さを微調整でき、剛性を自由自在に変えられる。建物の支柱や内外壁、天井などに2ミリの厚さで噴射コーティングすると、地震や爆発の際も衝撃を吸収し防護する。

東京ライノは用途に合わせて4タイプの製品を日本市場向けに投入する。4ストロークに塗装剤入りドラム缶や熱処理用機材、ホースなどの必要資材を積み込んで施工業者に貸し出す。さらに施工者に対して同社研修施設や支店営業所で塗布作業に関する講習を行い、修了者には施工技術認定証を発行する。

国内大手セネコンや自治体などに採用を働きかけ、老朽化した設備への補強工事などの建設工事にも積極的に参入する。